

東芝クッキングヒーター設置工事説明書

ドロップインタイプ(単相200V)

形名 **BHP-H46E, BHP-H36E**

安全上のご注意

●設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく据え付けてください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。

●表示と意味は次のようになっています。

 警告	誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取扱をすると、人が傷害を負ったり、*物的損害の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

●設置工事完了後、試験運転を行い、異常がないことを確認するとともに取扱説明書にそって、お客様に使用方法、お手入れの仕方を説明してください。

●この「安全上のご注意」は、取扱説明書とともにお客様に保管いただくように依頼してください。

 警告

設置工事はお買い上げの販売店または専門業者に依頼すること。

ご自分で設置工事され、不備があると水漏れや感電、火災の原因になります。

設置工事は、設置工事説明書に従い、確実に行うこと。

設置工事に不備があると、水漏れや感電、火災の原因になります。

設置工事は、機器の重量に十分耐える所に確実に行うこと。

耐重量不足や取付が不完全な場合、機器の落下や転倒により、けがの原因になります。

電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、及び設置工事説明書に従って施行し、必ず専用回路を使用すること。また、電圧は製品の定格電圧に合わせること。

電源回路容量不足や施行不備があると感電、火災の原因になります。

設置工事部品は、必ず付属部品または、指定の部品を使用すること。

使用しないと、機器の落下や転倒、水漏れ、感電、火災の原因になります。

アースを必ず行うこと。アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないこと。

アースが不完全な場合は、感電の原因になることがあります。

 注意

可熱性ガスの漏れる恐れのある場所への設置は行わないこと。

万一ガスが漏れて機器の周囲に溜まると、発火の原因になることがあります。

工事される方へのお 願 い

- この器具を正しく安全にご使用いただくために、指定された工事を行ってください。
- 工事完了後の、試運転を必ず行い、お客様へ正しいかたをご説明ください。
- この説明書は、必ずお客様にお渡しください。
- 梱包箱の内フラップに記入された付属品が同梱されていることをご確認ください。

1 製造開始の届出(乙種電気用品)

■工事現場で工事人が取付ける時は別ですが、家具製造者等が製造活動として家具等に取付ける時は電気用品取締法の製造規制の対象となりますので、注意してください。乙種電気用品の届出が必要です。

2 電気工事および接地工事

■電源工事や接地工事は「電気設備技術基準」ならびに「内線規定」に準じてください。

■電源は30A専用回路(ブレーカ付)を設けてください。

万一のときの安全のために、漏電しゃ断器の設置をお願いいたします。

- 推奨漏電しゃ断器：品番(東芝ライテック)LB332HL30A30MA…定格電流30A、感度電流30mA

■電源コンセント：埋込コンセント…単相3線式定格250V30A(一極接地用)

- 電源コンセント取付位置は、次項の「システムキッチンとの関係寸法図」を参照してください。

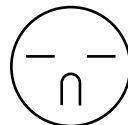
- 電源コードの直付は絶対にしないでください。

■アース工事を必ず行ってください。(第3種接地工事)

- 上記コンセントの一極接地用に配線してください。

《ご注意》アース線はガス管や水道管、電話線用のアース線には絶対に接続しないでください。

コンセント差し込み形状



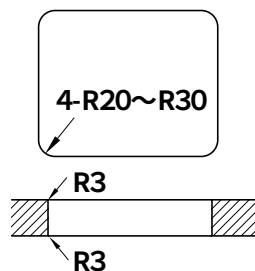
電気工事は、必ず電気工事士の免許をお持ちの方に行っていただきますようお願いします。

3 人造大理石ワークトップへ取付け施行される際のお願い。

■人造大理石ワークトップは、加工状態や、高温条件によっては、クラック(ひび)の入ることがあります。右記の要領で加工し施工してください。

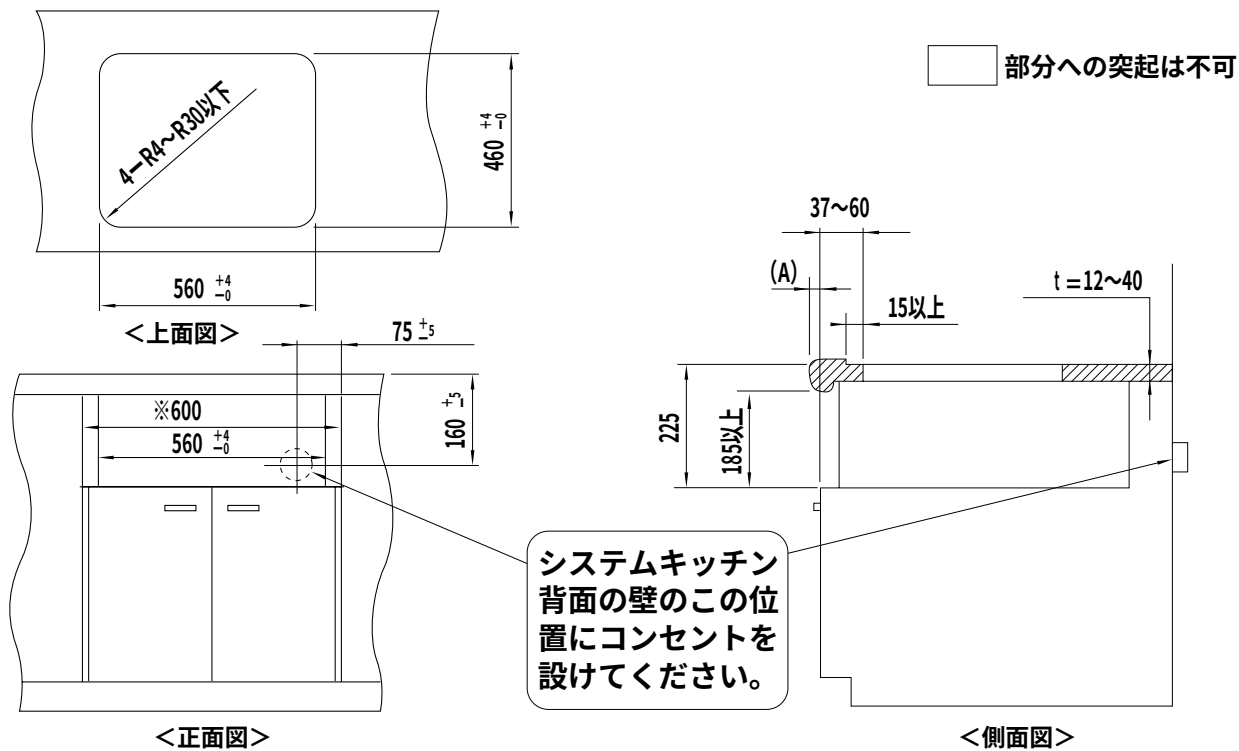
(注) 人造大理石の種類によっては、断熱テープ等の対策が必要となる場合があります。

開口部の加工



- 穴あけはルーターを使用してください。
- 4コーナーのRは極力大きくしてください。
- 切断面の上下エッジは、3Rのアールをつけてください。または#240のサンドペーパーでエッジを丸く落としてください。

4 システムキッチンとの関係寸法図

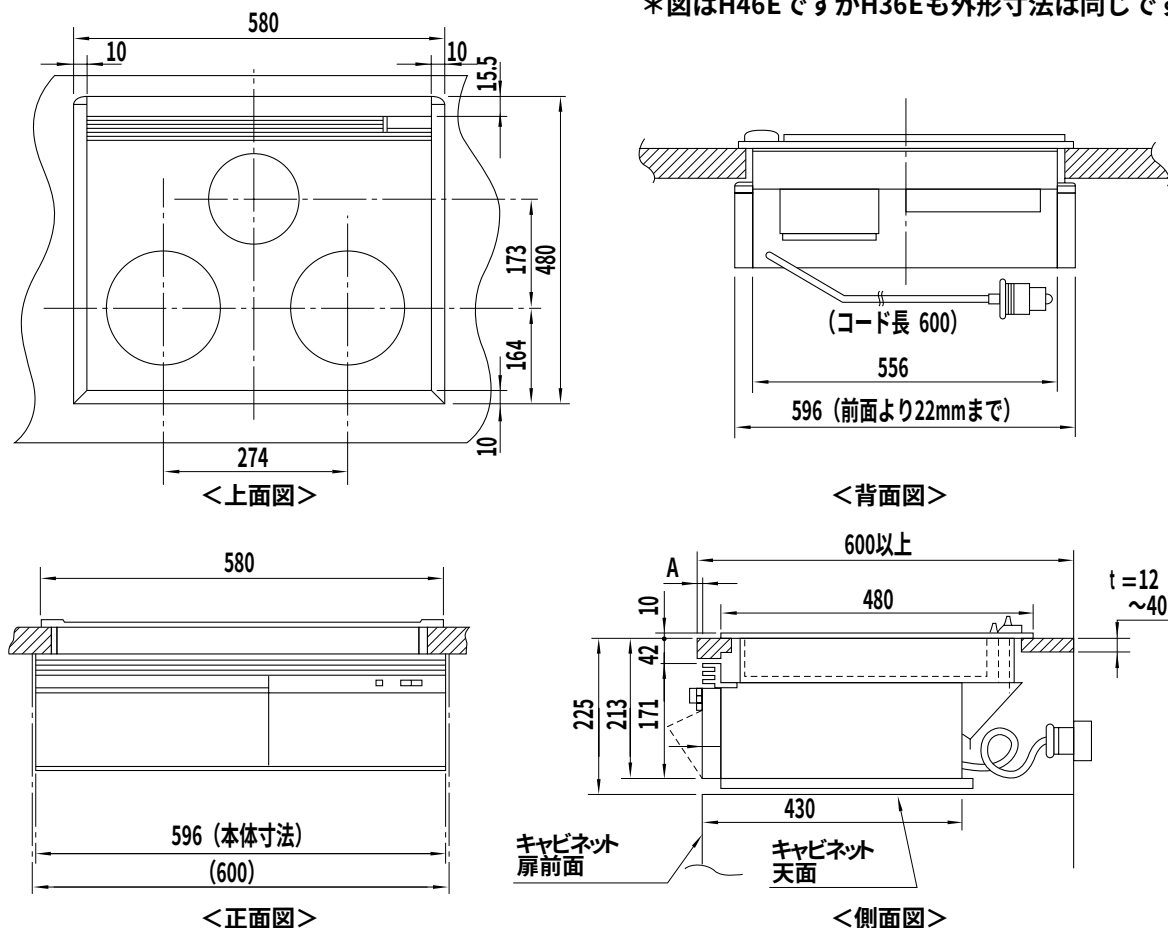


*設置の際、前面より奥行25mm以上は
600mm幅の空間が必要です。

露出型コンセントも取付が可能です。

5 製品外形寸法図

*図はH46EですがH36Eも外形寸法は同じです。

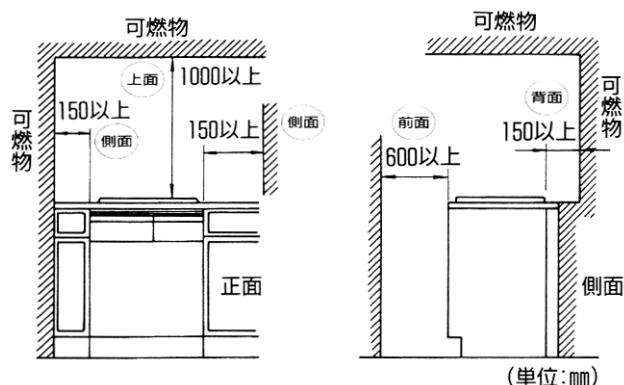


6 設置上の注意

■設置工事を始める前に確認してください。

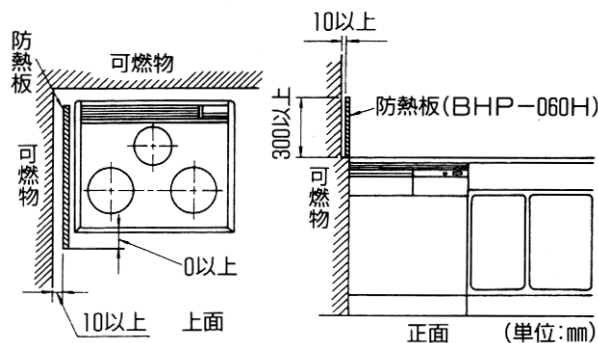
- 器具の大きさに合った丈夫で水平な台の上に設置してください。
- 器具は火災予防上、可燃物(土壁・棚)との間を側面および背面15cm以上、上面1m以上離してください。また、器具の前面は60cm以上離してください。不燃壁の場合はその限りではありません。

- 周囲が可燃性の壁・たな等がある場合や、可燃性の壁にステンレス板等を張り付けてご使用の場合は、下図に準じてください。



- 可燃性の壁より、150mm以上離して設置できない場合は、防火上有効な防熱処理をしてください。

*防熱板 (BHP-060H……別売品)
高さ350、厚さ16、幅610



- 本体の一部が家屋の壁のワイヤラシに接触したり、金属製の防熱板とステンレス製ワークトップが接触するおそれのある場合は、絶縁テープなどで電氣的に接触しないようにしてください。電気設備技術基準182条により義務づけられています。
 - ロースタ排気口をステンレスの水きりカバー(水返しカバー)などでふさがないでください。
 - 本体をタイルやモルタルで、塗り込まないようにしてください。点検やアフターサービスの妨げとなります。
 - 湿気の少ないところに設置してください。
 - 十分換気できるところに、設置してください。
 - 器具のまわりや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類など燃えやすいものは、置かないようにしてください。
 - ワークトップは、熱硬化樹脂化粧板(JIS・K・6903)または、これと同等以上の材料をお使いください。
 - ワークトップの表面が、ニス引きのものは、変色しますのでお使いにならないでください。
- 《ご注意》この機器を設置される台所が、建築基準法に定める【内装制限を受ける調理室】に該当する場合は、台所全体についても内装材の制限を受けます。
- 設置場所と周囲の可燃物、防火措置は、必ず火災予防条例に準じて施工してください。

7 システムキッチンの温度上昇

■システムキッチンに使用する材料は145℃の熱に耐えるような材料を使用してください。また、接着剤等の耐熱性にもご注意ください。

1. 異常温度上昇試験において、システムキッチンの各部分の温度は145℃(基準周囲温度30℃)。
この試験条件は左右のヒーターにフライパンを空でのせ、強火で連続通電すると共に、ロースタの受口に水を入れないで強火で連続通電した状態に相当します。
2. 平常温度上昇試験においてシステムキッチンの格部分の温度は95℃(基準周囲温度30℃)。
この試験場権は左右のヒーターに水を入れた鍋をのせ、強火で連続通電すると共に、ロースタの受口に水を入れないで強火で連続通電した状態に相当します。

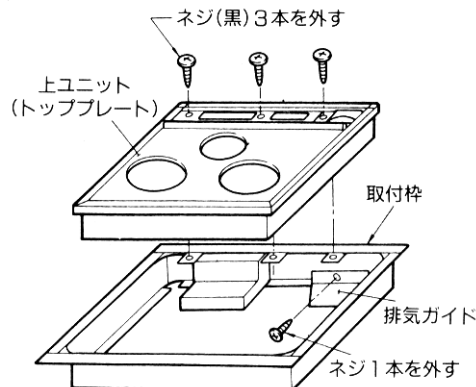
8 設置法 (本体の分解、組み込み)

■金属端面が多いためケガをしないように注意してください。

1. 上ユニット(トッププレート)、排気ガイドを外す。

- (1) ネジ(黒)3本を外します。
- (2) 上ユニットの後部を持ち上げてリード線コネクタ4ヶ所を外し、上ユニットを取付枠より外します。

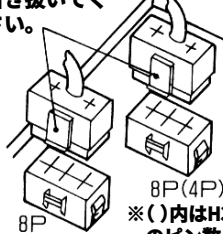
※H36Eはコネクタは2ヶ所



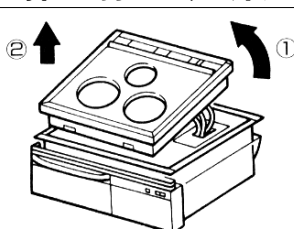
上ユニットを外す際に、強く引張り過ぎて結線類が損傷しないように注意してください。

下ユニットコネクタ2ヶ所外す

この部分を押して引き抜いてください。



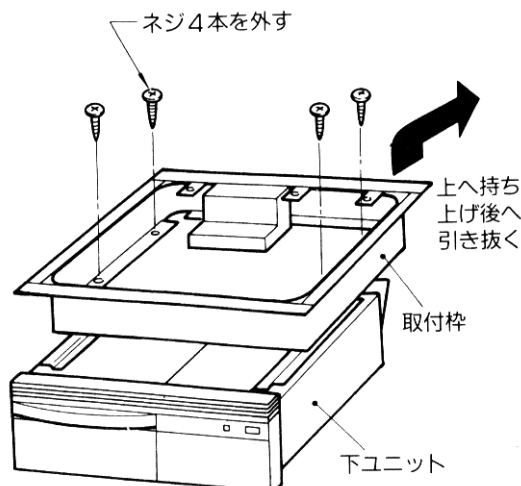
斜めに持ち上げて外す



パチッという音がするまで奥を持ち上げてください。

2. 下ユニットから取付枠を外す。

- (1) ネジ4本を外します。
- (2) 取付枠を上へ持ち上げながら後へ引き抜きます。

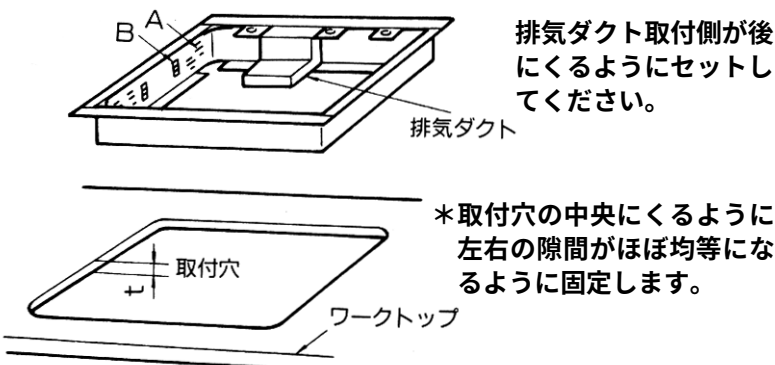


(注) 外したネジは後で使しますので紛失しないように注意してください。(黒ネジ3本、ネジ5本)

3. 取付枠を取付ける。

■取付枠の固定方法には「押さえ金具方式」と「ネジ止め方式」の2通りがあります。(システムキッチンに合った方法で固定してください。)

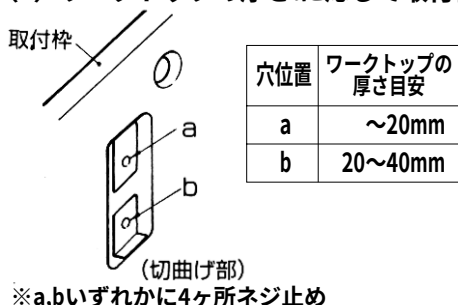
《ご注意》取付枠は、前後に方向性がります。



*取付穴の中央にくるように左右の隙間がほぼ均等になるように固定します。

B ネジ止め方式 フロアキャビネットの開口幅が560mmの場合

- (1) 同梱の木ネジ4本で固定します。
- (2) ワークトップの厚さに応じて取付位置を選びます。

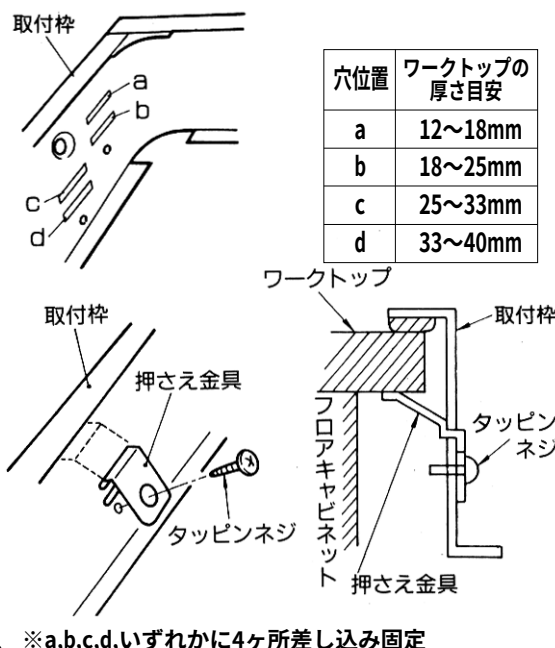


穴位置	ワークトップの厚さ目安
a	~20mm
b	20~40mm

※a,bいずれかに4ヶ所ネジ止め

A 押さえ金具方式 フロアキャビネットの開口幅が600mmの場合

- (1) 同梱の押さえ金具(4ヶ)を使用します。
- (2) ワークトップの厚さに応じて、取付枠の穴位置を選んで、ネジで固定します。

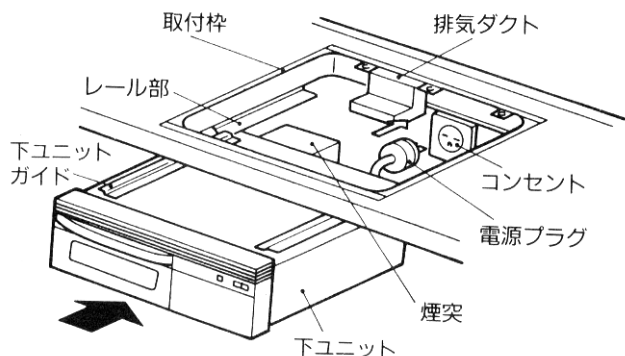


穴位置	ワークトップの厚さ目安
a	12~18mm
b	18~25mm
c	25~33mm
d	33~40mm

※a,b,c,d,いずれかに4ヶ所差し込み固定

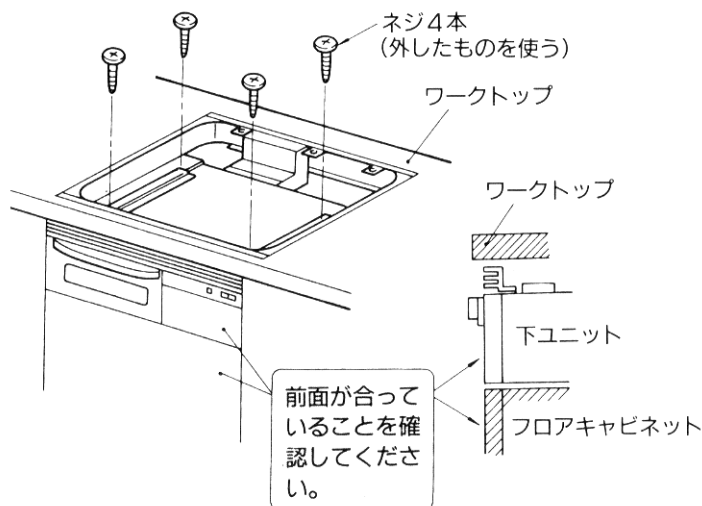
4. 下ユニットを設置位置に差し込む。

電源プラグをコンセントに接続後、下ユニットを取付枠のレール部に差し込み、キャビネットの前面に合わせる。



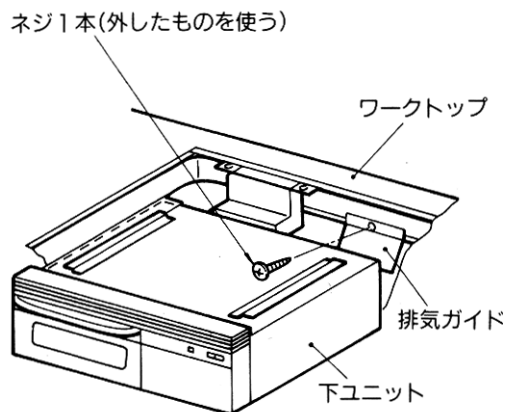
*排気ダクトに下ユニットの煙突を確実にはめ込んでください。

5. 取付枠への下ユニットの固定。

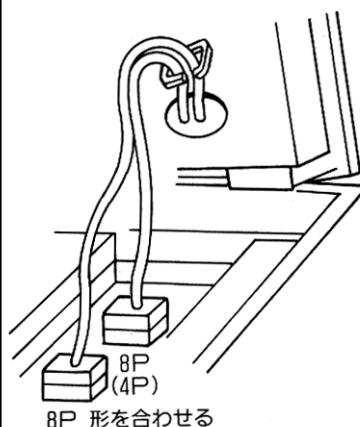


6. 排気ガイドを取付ける。

※必ず取付けてください。



7. 下ユニットと下ユニットの結線をする。



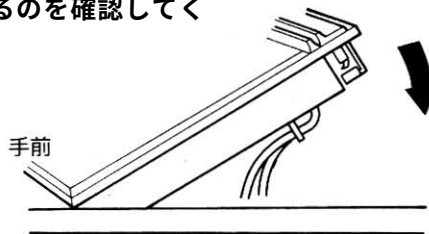
* () 内はH36Eのピン数

- コネクタの形及びロック機構の位置を合わせてください。
- 確実に根元まで差し込んでください。
- コネクタを引張って外れないことを確認してください。

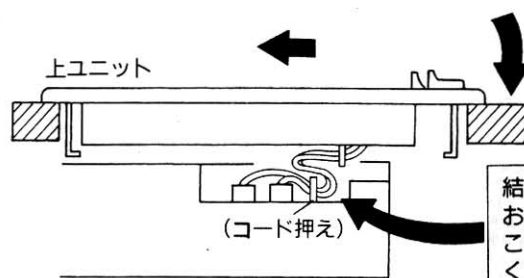
(注) 上ユニット底面にはネジ等が出ていますので、ワークトップを傷つけないようにしてください。(布などを敷きます。)

8. 上ユニットを取付枠へ組み付け配線処理をします。

上ユニットの手前を先に取付枠へ斜めに差し込み配線を処理する。このとき、上ユニット前面の切り起こし部が取付枠のバネに引っかかるのを確認してください。(2ヶ所)

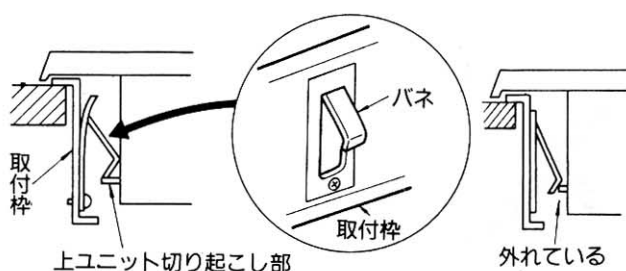


上ユニットを手前に押しつけながら後部を取付枠におさめてください。このとき、下ユニットのコード押さえに結線をはさみ込んでください。

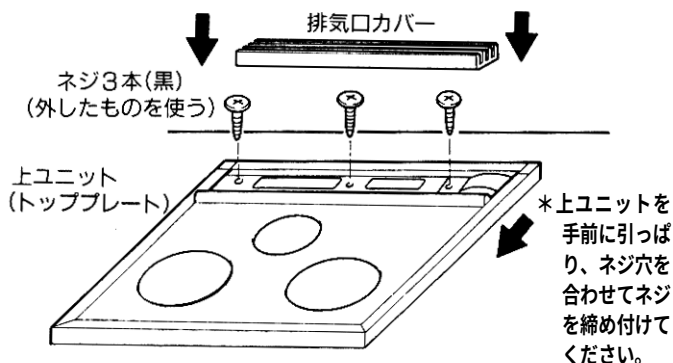


結線を上ユニットと取付枠、下ユニットの間にはさみ込まないように注意してください。上ユニットが浮き上がる原因となります。

(注) 隙間をうめないでください。(1mm程度は隙間はできます。)
浮き上がった場合は再度、配線処理を確認してください。

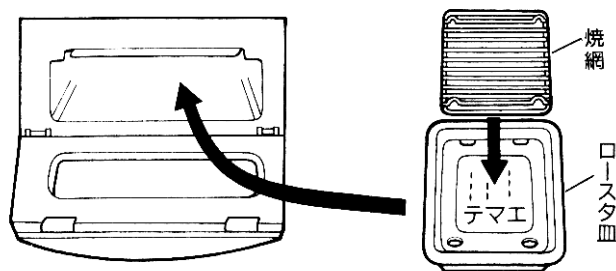


9. 上ユニットを固定し 排気カバーを取り付ける。



10. ロースタ皿、焼皿をセットする。

デマエ側が前面にくるように入れてください。



*取付説明書、工事説明書、取っ手、天ぷら鍋、天ぷらセンサーはお客様に渡してください。

9 工事完了後の確認

■設置完了後、次の手順で確認し、チェック欄にレ印をしてください。

	確 認 事 項	チェック
ずし 包装材 の取 り付 け	ロースタ扉、操作、表示パネル部止めテープの取りはずし	
	排気ガイドの取付け(取付枠の奥側に取付ける)	
	排気口カバーの取付け	
	ロースタ皿、焼網の取付け	
電 気 工 事	接地工事	
	漏電ブレーカーの設置	
	電源プラグの接続	
電 気 試 験	①電源電圧が200Vであることを必ず確認してください。 ②電源スイッチを入にすると電源ランプが点灯します。 ③ヒーターの 入/切 キーを0.7秒(ピーツという間)押してください。	➡ ●それぞれのヒーターが赤く光り熱くなる。
	①操作パネルを左下の 手動 入/切 キーまたは中央ヒーター 入/切 キーを0.7秒(ピーツという間)押してください。 (中央ヒーターはBHP-H46Eのみで、BHP-H36Eにはついていません。)	➡ ●中央ヒーターとロースターヒーターの切換えを確認してください。 ●それぞれのヒーターが熱くなる。
	①天ぷらセンサーをジャックに差し込み、天ぷら蝶理 入/切 キーを0.7秒(ピーツという間)押してください。	➡ ●天ぷら温度ランプが点滅し、右ヒーターが赤く光り、熱くなる。

■電気試験後は、必ず電源スイッチを「切」にしてください。

工事完了
確認者印

10 付属品(設置工事用)

●取付枠固定板……4ケ ●ナベタッピンネジ……4本 ●木ネジ……4本

MEMO

株式会社 **東芝** 家電機器社
HAクリエーション部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

据 付 年 月 日	年	月	日
据 付 施 工 店 名			
	TEL		



お客様へ……おぼえのために、据付年月日、据付施工店名を記入されると便利です。